



2012年3月期第2四半期決算説明

2011年11月11日

山一電機株式会社

(証券コード 6941)

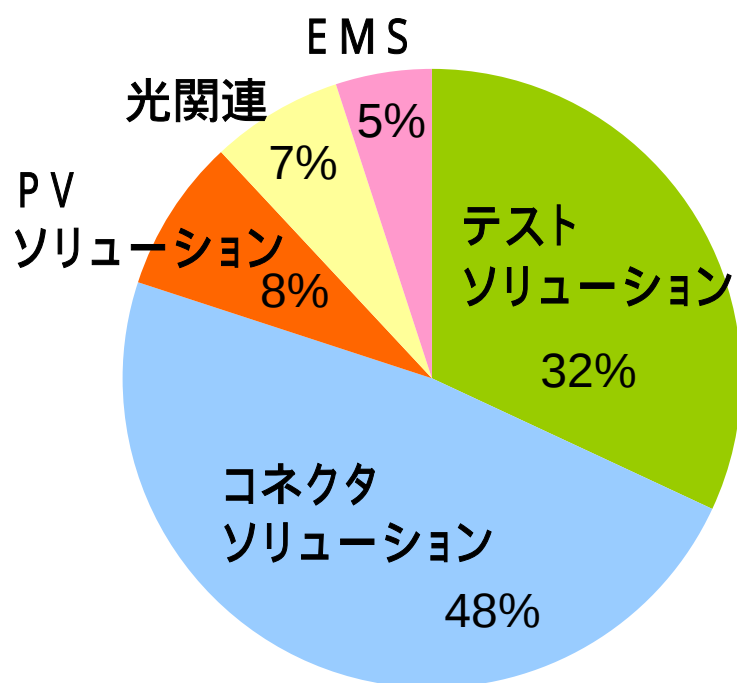
【1】山一電機について

【2】FY2011上期業績について

【3】FY2011通期業績見通しについて

【4】今後の成長戦略について

【売上高構成比 FY2011 上期】



● 概要

本社 東京都大田区
設立 1956年11月1日
資本金 10,047百万円 (株式 23,289千株)
従業員数 458名 (グループ 3,791名)
2011/ 9末、派遣社員除く
拠点 国内 5社(8拠点)、海外13社(15拠点)

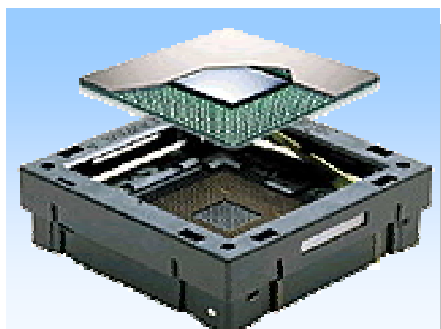
● 創立55年の接触機構部品メーカー

バーンインソケット(世界シェア40%)の最大手
コネクタはメモリカード・高速伝送に強み
太陽光発電関連事業の立上進捗中

● 海外比率

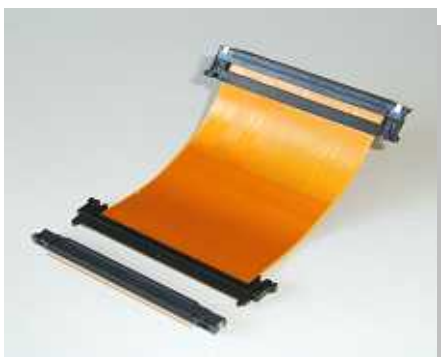
売上比率58%、生産比率85%(FY2010)
開発・生産・販売をグローバルに展開
海外マネジメントはローカル比率が高い。

■ テストソリューション(TS)事業



- ・バーンイン検査用ICソケット
- ・テスト用ICソケット
- ・プローブカード
- ・半導体テストサービス

■ コネクタソリューション(CS)事業



- ・メモリーカードコネクタ
- ・高速伝送用コネクタ
- ・実装用ICソケット
- ・YFLEX™
(フレキシブルプリント配線板)

■ PVソリューション(PS)事業



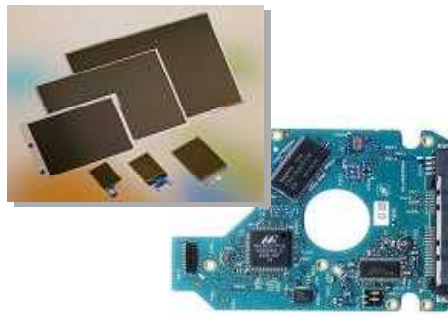
- 太陽電池モジュール用
- ・コネクタケーブル
- ・ジャンクションボックス

■ 光関連(OPT)事業



- ・光学薄膜フィルタ
- ・半導体レーザ光源
- ・光モジュール

■ EMS事業

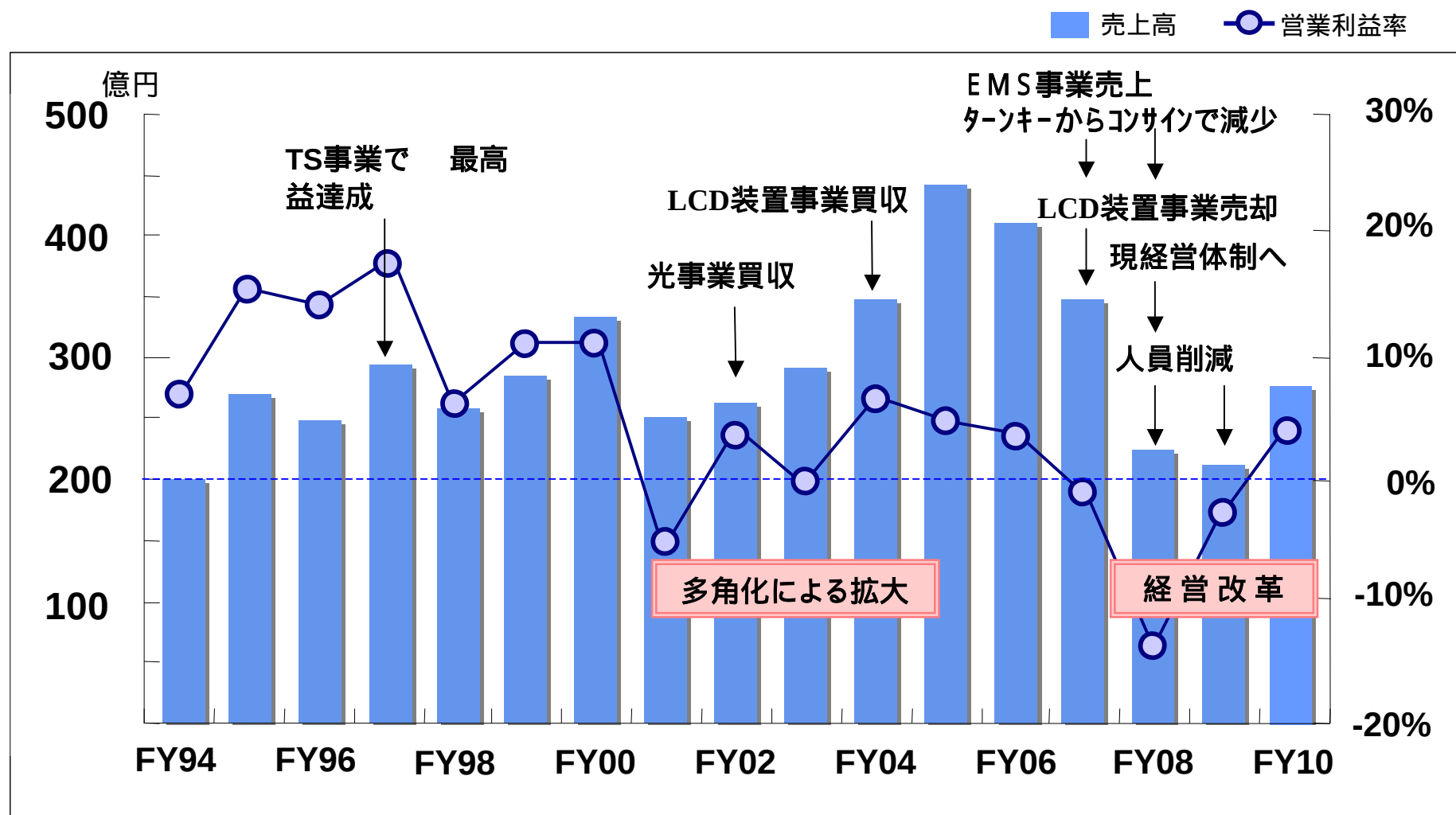


- ・液晶パネル組立
(国内 マティ)
- ・基板実装サービス
(フィリピン PMI)

長期的な業績の推移

経営改革により黒字体質へ転換を目指す

5



【1】山一電機について

【2】FY2011上期業績について

【3】FY2011通期業績見通しについて

【4】今後の成長戦略について

F Y 2011上期決算のポイント



PS事業が振るわず

7

ハイライト

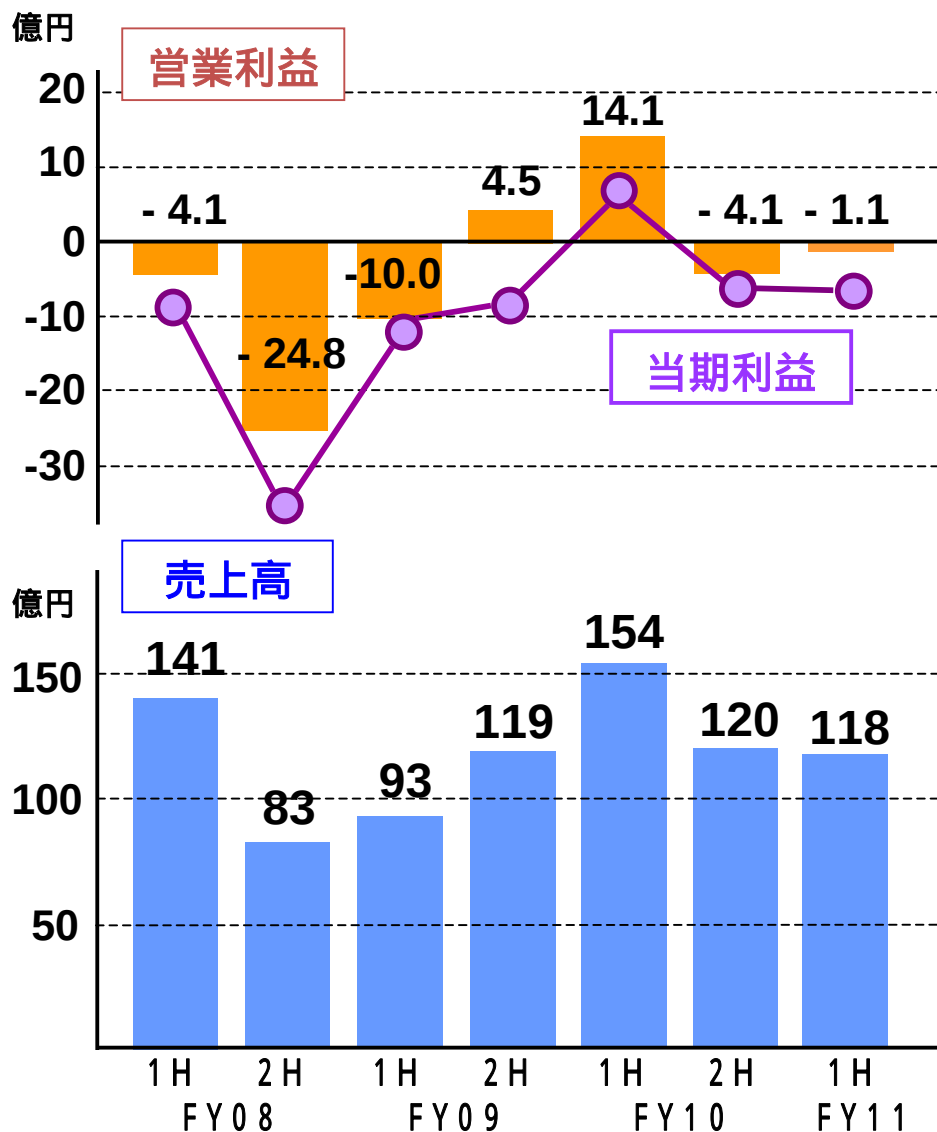
ローライト

TS (テストソリューション)	スマートフォン・タブレット関連IC向けビジネスが好調	PC用途メモリ向けビジネスは谷間 全般にバーンインソケット販売低調
CS (コネクタソリューション)	アミューズ・カーナビ向けビジネスは 堅調に推移	大震災からの需要回復力は弱い クリスマス商戦向けの動きは低調
PS (PVソリューション)	事業拡大に向け、開発・生産体制の 増強は進捗	新規商談の成約低迷 市場価格大幅下落・市況低迷
OPT (光関連)	民生向け売上大幅増加 損益構造改革実行	特別損失89百万円を計上 (損益構造改革に伴う費用)
EMS		主力市場のHDD・液晶パネル共に 低調

FY2011上期業績結果について

前年同期比では減収減益

8



単位: 億円

	FY10 1H	当初 予想	FY11 1H	前年比	当初 予想比
売上高	154	119	118	77%	99%
営業利益	14.0	0.8	- 1.1	—	—
(為替差損益)	- 4.7		- 3.6		
経常利益	8.7	- 0.6	- 4.8	—	—
(特別損益)	2.6		- 1.0		
(法人税等)	- 3.3		- 1.0		
当期純利益	7.9	- 2.1	- 6.9	—	—

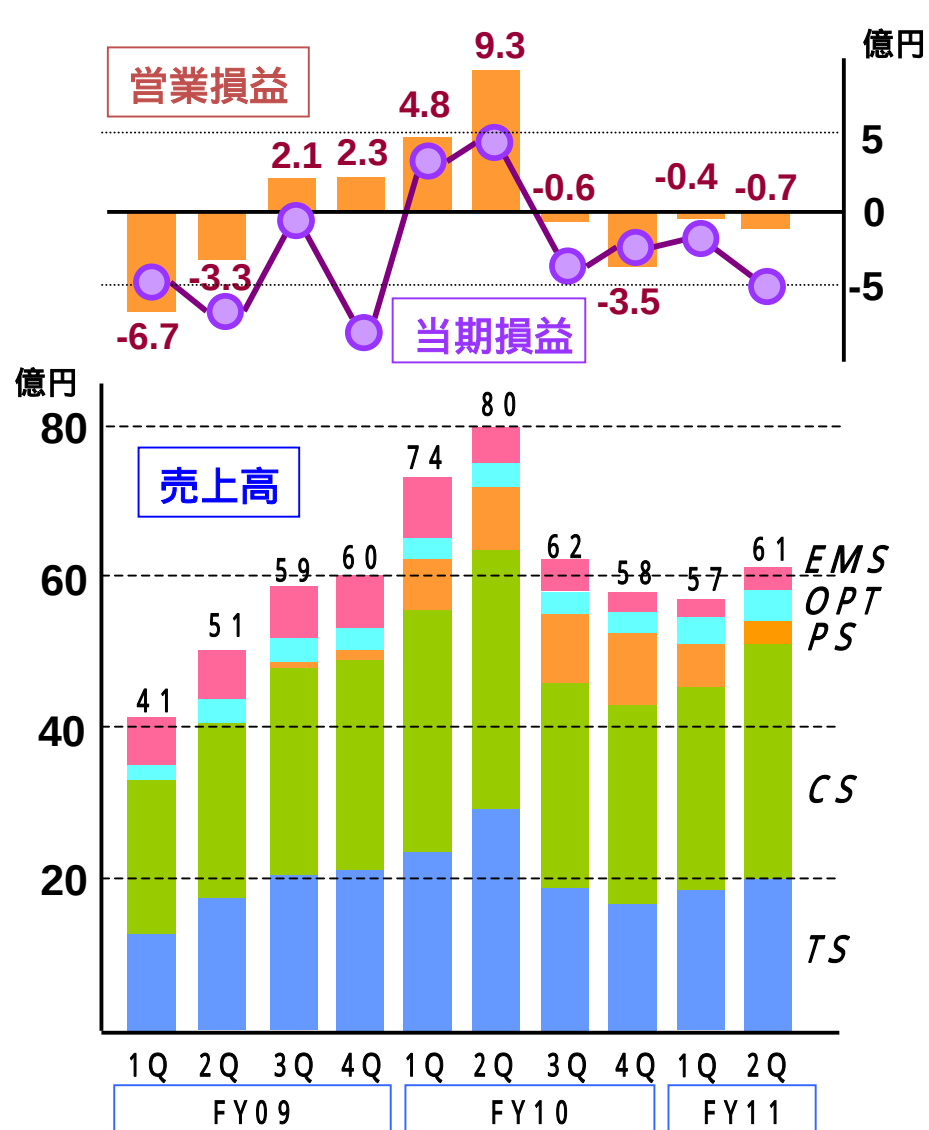
円高水準 = 期末為替レート - 期初為替レート

ドル 6.5円高 ユーロ 13.5円高

FY2011上期事業別業績結果について

PS事業の損益が大きく悪化

9



単位: 億円

	1H 売上高			1H 営業利益		
	FY10	FY11	前年比	FY10	FY11	前年比
TS	53	38	72%	7.4	2.4	32%
CS	67	57	85%	7.6	3.4	45%
PS	15	9	62%	0.6	-4.6	—
OPT	6	8	130%	0.1	0.2	200%
EMS	13	6	43%	0.2	-1.2	—
Other				-1.9	-1.3	—
Total	154	118	77%	14.0	-1.1	—

FY2011上期の貸借対照表



現預金61億円、自己資本比率57%

10

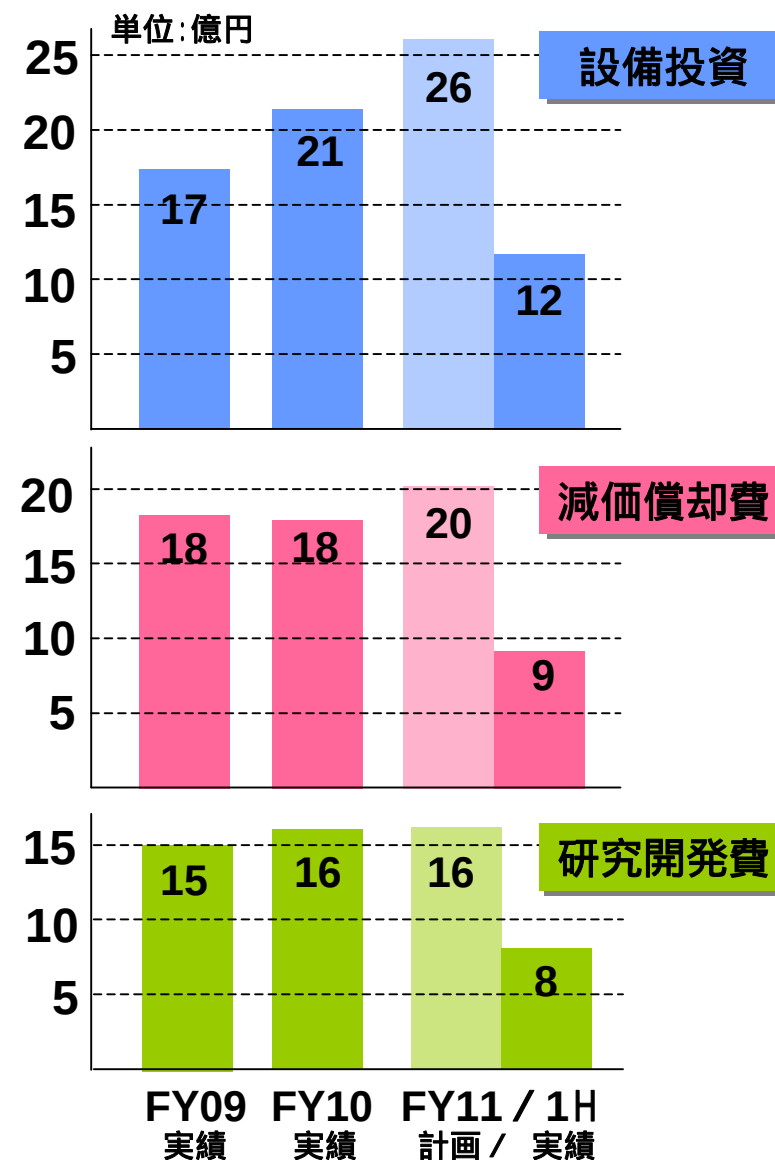
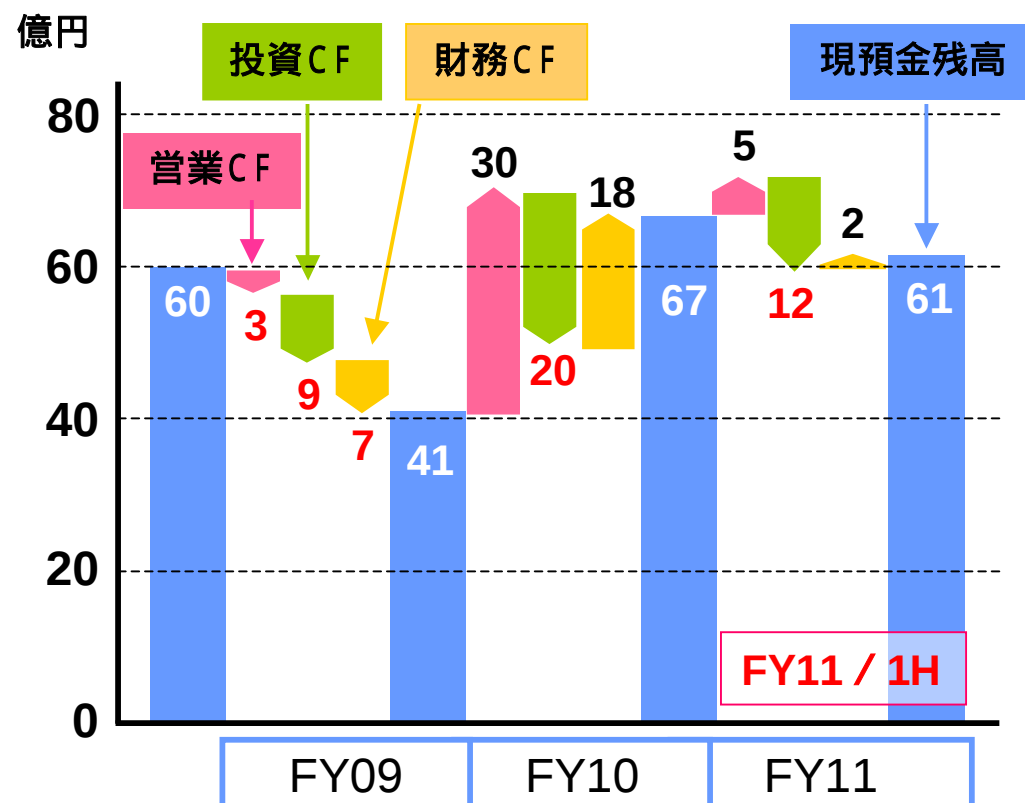
	2010.3末	2011.3末	2011.9末	前期比増減	単位:億円
流動資産	157	151	141	▲10	← 設備投資等で減少
現金及び預金	41	67	61	▲7	← 現預金61億円
売上債権・棚卸資産	108	74	72	▲3	
固定資産	130	133	133	—	
資産合計	287	283	273	▲10	
流動負債	115	103	102	▲1	
買入債務	42	19	17	▲2	← 仕入高の減少
短期借入金	54	67	67	—	
固定負債	13	12	15	3	← 長期借入の増加
負債合計	128	116	117	1	
純資産合計	159	167	157	▲10	← 四半期純損失計上で減少 自己資本率57%

FY2011上期のCF・設備投資・減価償却費・研究開発費

事業運用資金は安定

11

キャッシュフロー

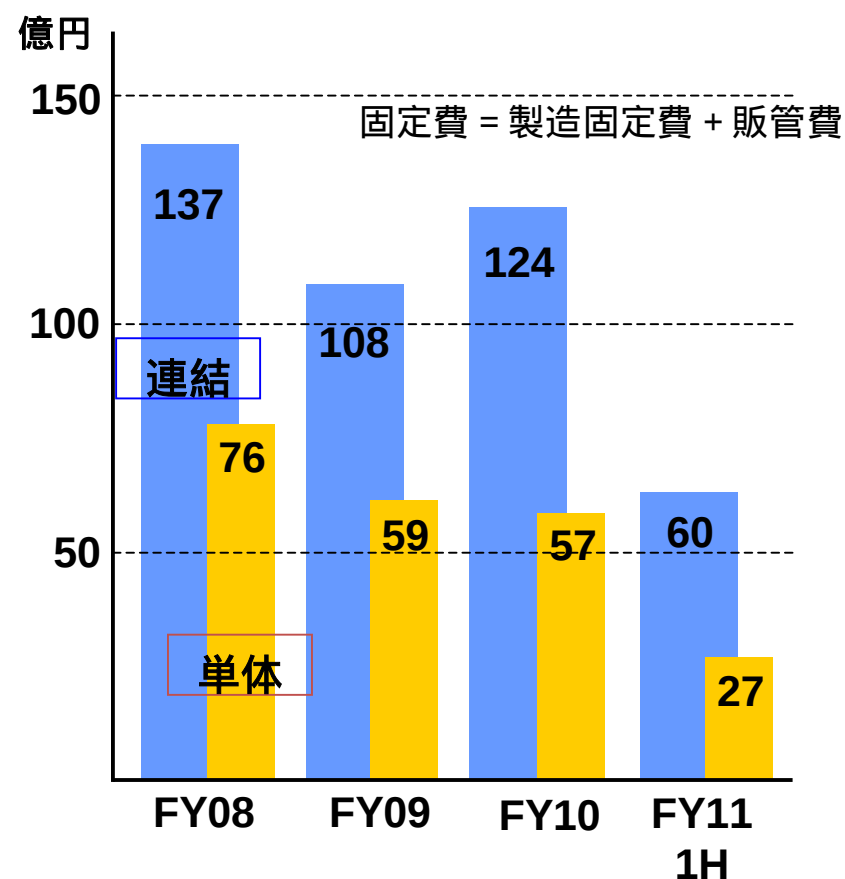


FY2011上期の重点施策と進捗状況

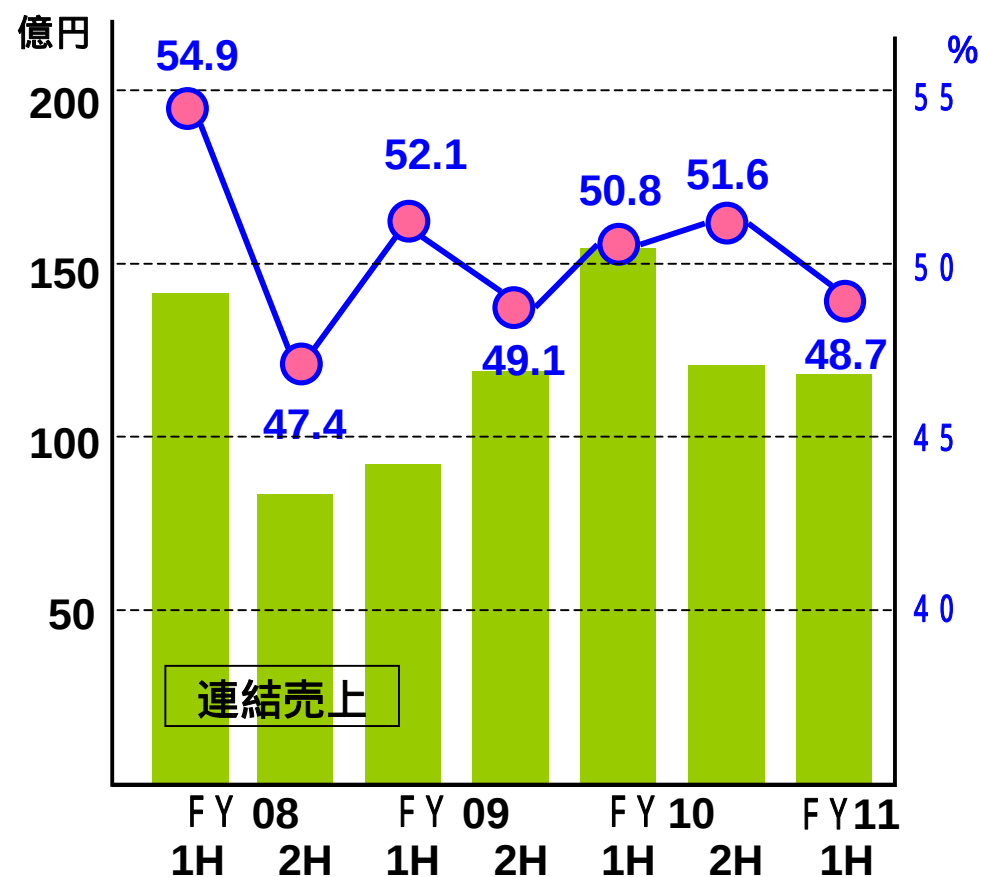
固定費削減・変動費率低減は、着実に実行

12

連結/単体 固定費



対売上変動費率



【1】山一電機について

【2】FY2011上期業績について

【3】FY2011通期業績見通しについて

【4】今後の成長戦略について

FY2011通期の業績見通し



事業状況・事業環境から対上期改善は限定的

14

単位:億円

下期事業環境

	前年実績	当初予想	今回予想		
連 結	FY10	FY11	FY11	前期比	当初比
売上高	275	269	240	87%	89%
営業利益	10.0	9.8	0.1	1%	1%
経常利益	3.7	7.0	- 5.0	—	—
当期純利益	1.6	3.5	- 8.0	—	—
単 体	FY10	FY11	FY11	前期比	当初比
売上高	165	178	147	89%	83%
営業利益	4.6	4.5	1.2	26%	27%
経常利益	3.6	3.7	- 2.5	—	—
当期純利益	0.5	2.9	- 3.5	—	—

世界的な景気減速

円高の影響

タイ洪水の影響でセット
メーカーの生産調整

金等の原材料価格の
高止まり

FY2011通期の事業別業績見通し



PS事業の赤字流出を早期に改善する

15

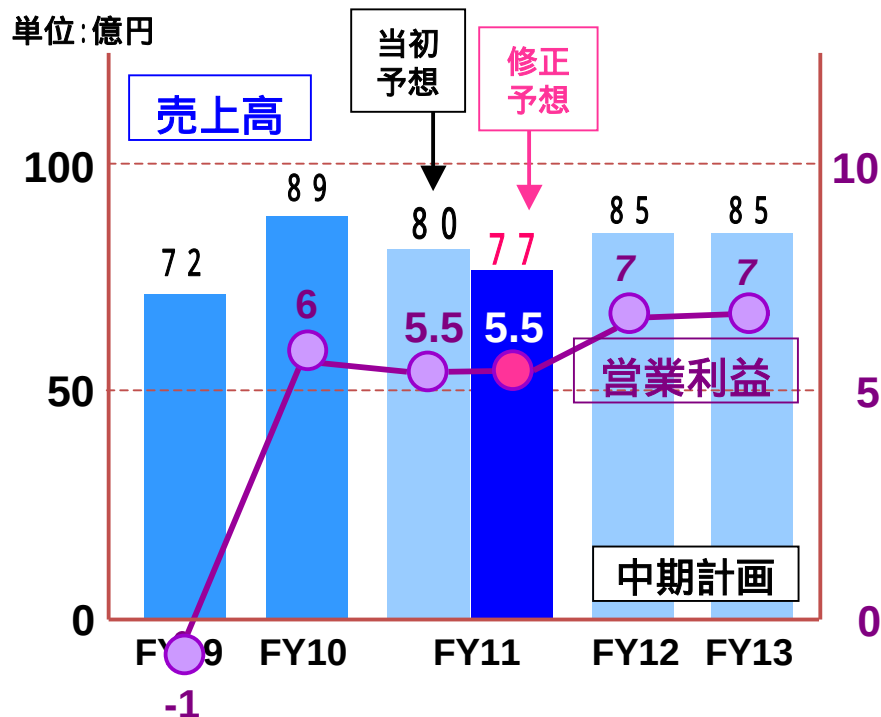
単位:億円

	売上高				営業利益			
	FY10 実績	FY11 当初予想	FY11 今回予想 当初比		FY10 実績	FY11 当初予想	FY11 今回予想 当初比	
テストソリューション	89	80	77	96%	6.2	5.5	5.5	100%
コネクタソリューション	120	123	118	96%	8.7	6.2	6.0	97%
PVソリューション	34	36	17	47%	-1.2	1.0	-7.0	—
光関連	12	14	16	114%	0.1	0.3	0.7	233%
EMS	20	16	12	75%	-0.1	-0.2	-1.4	—
その他					-3.7	-3.0	-3.7	—
合 計	275	269	240	89%	10.0	9.8	0.1	1%

テストソリューション事業: 着実に利益を確保する！

新製品のプローブピンテストソケットが伸長

16



「着実に利益を確保する」
構造改革は完了。

過去5年間取組んできた「プローブピン」の
技術差異化による「テストソケット」が
上向きに推移。

バーンインソケット



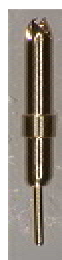
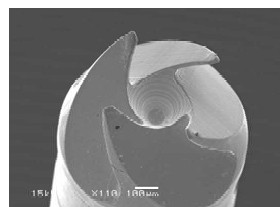
テストソケット



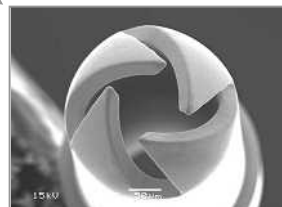
プローブピン



イーグルコンタクト



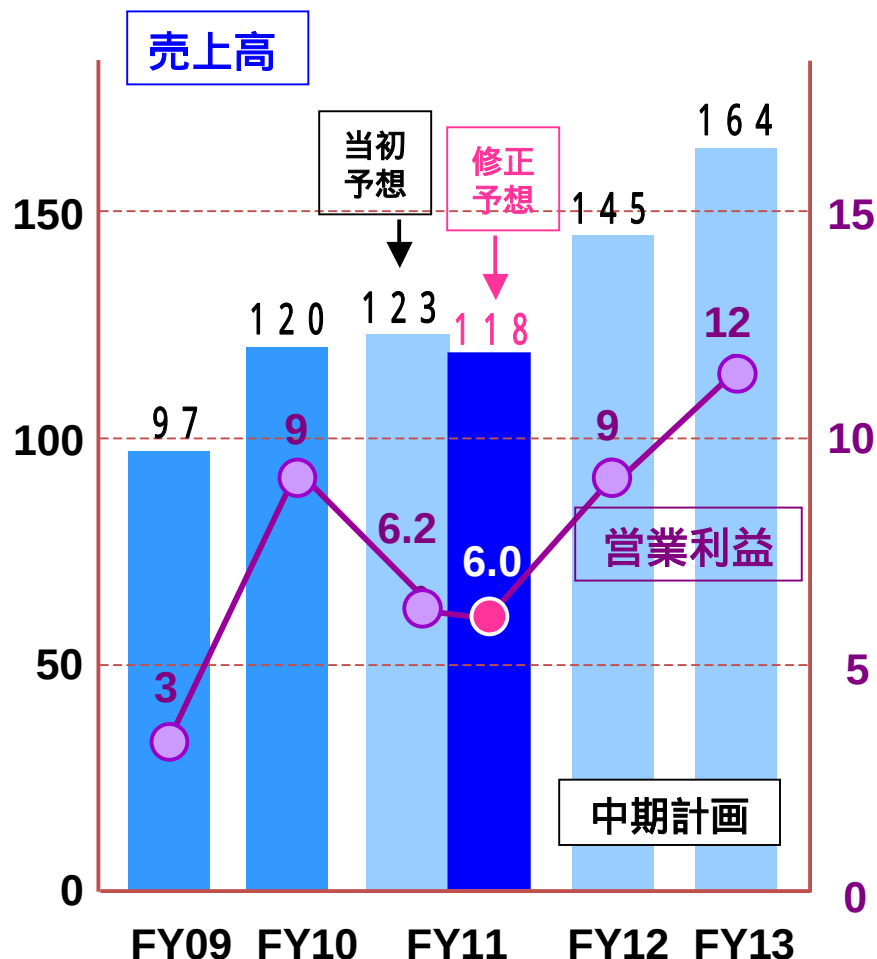
ホークコンタクト



高速伝送市場に注力

17

単位：億円



○「成長エンジンとする」状況への転換途上

過去5年取組んできた「高速伝送」ビジネスで商談案件が増加。
特に車載への取組みは、カーナビ向けで成果。

○「高速伝送」における「インフラ系ビジネス」の取組みと、新興国向けの「民生系ビジネス」の2方向で取組む。

インフラ系高速伝送製品



光モジュール
ケーブル



高速伝送用
ホストコネクタ

民生系高速伝送製品



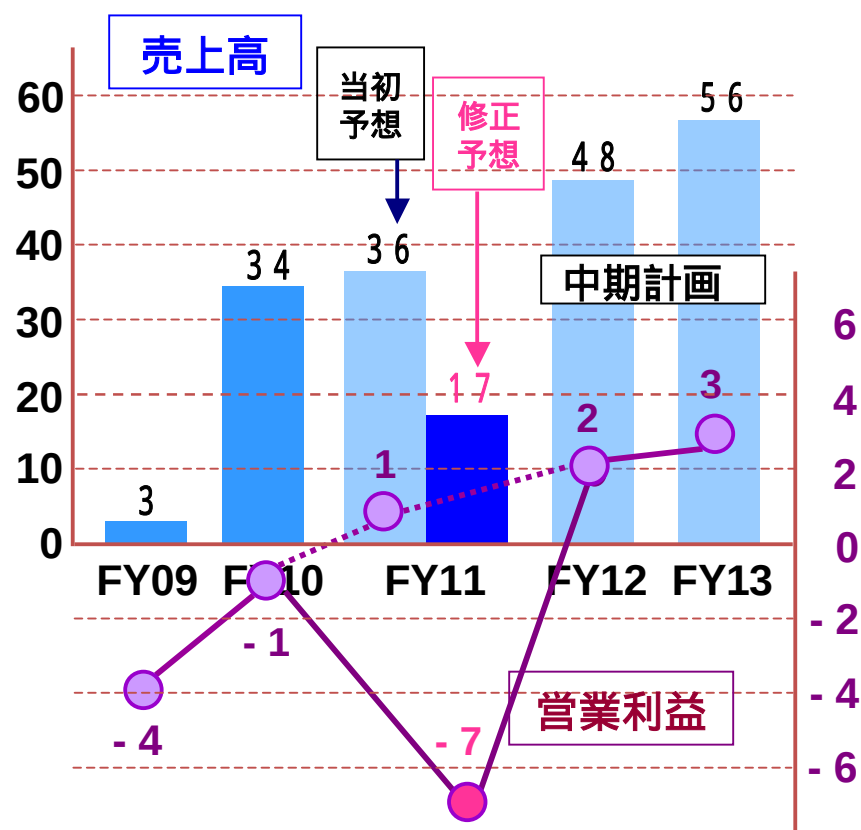
コネクタ & YFLEX

PVソリューション事業:第三の柱として急拡大

早期に赤字縮小へ

18

単位:億円

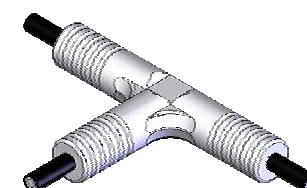


- 「第三の柱として急拡大」に向けて開発・生産への資源投下を行ったが既存販売・新規採用とも低迷。

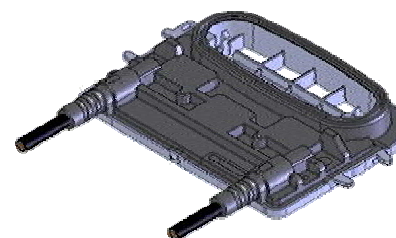
改革を急ぐと共に、新規ビジネス獲得に全力を注ぐ。



YSOL4 FAT



T分岐 T Junction

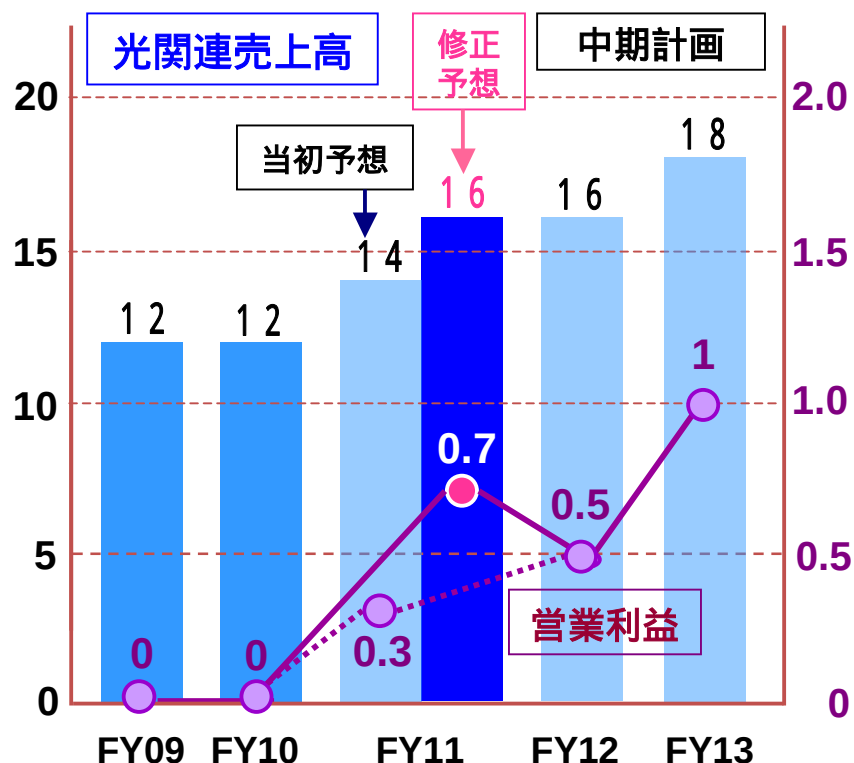


エロ JBOX



Si JBOX

単位: 億円



光関連事業（光伸光学工業）

「経営改革で高収益体質」に向けて
着実に一歩踏み出した。

- 生産アロケーション改革、
早期退職によるスリム化、
ビジネス意識改革などを実行。



組込型光源
1064nm波長可変光源

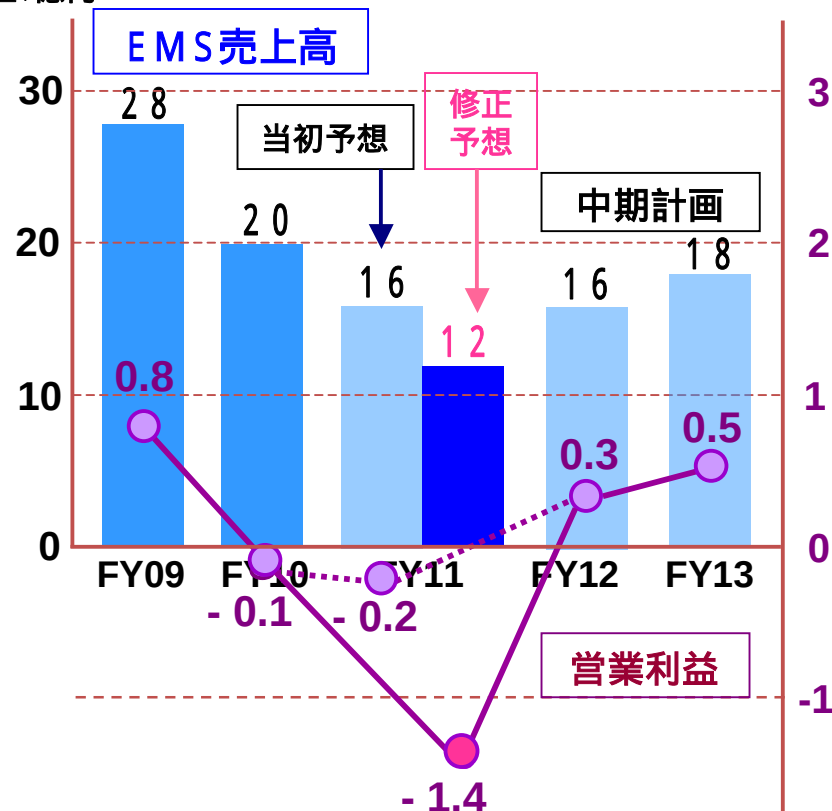


DSC/DVC向け
樹脂低反射ND

事業再構築を引き続き推進

20

単位:億円



EMS事業 (国内:マティ、フィリピン:PMI)

- PMIでの基板実装事業
下期はHDD向け基板実装が生産増。
- マティでの液晶組立事業
生き残りのための経営改革を推進へ。



HDD向け基板製品



液晶組立製品

【1】山一電機について

【2】FY2011上期業績について

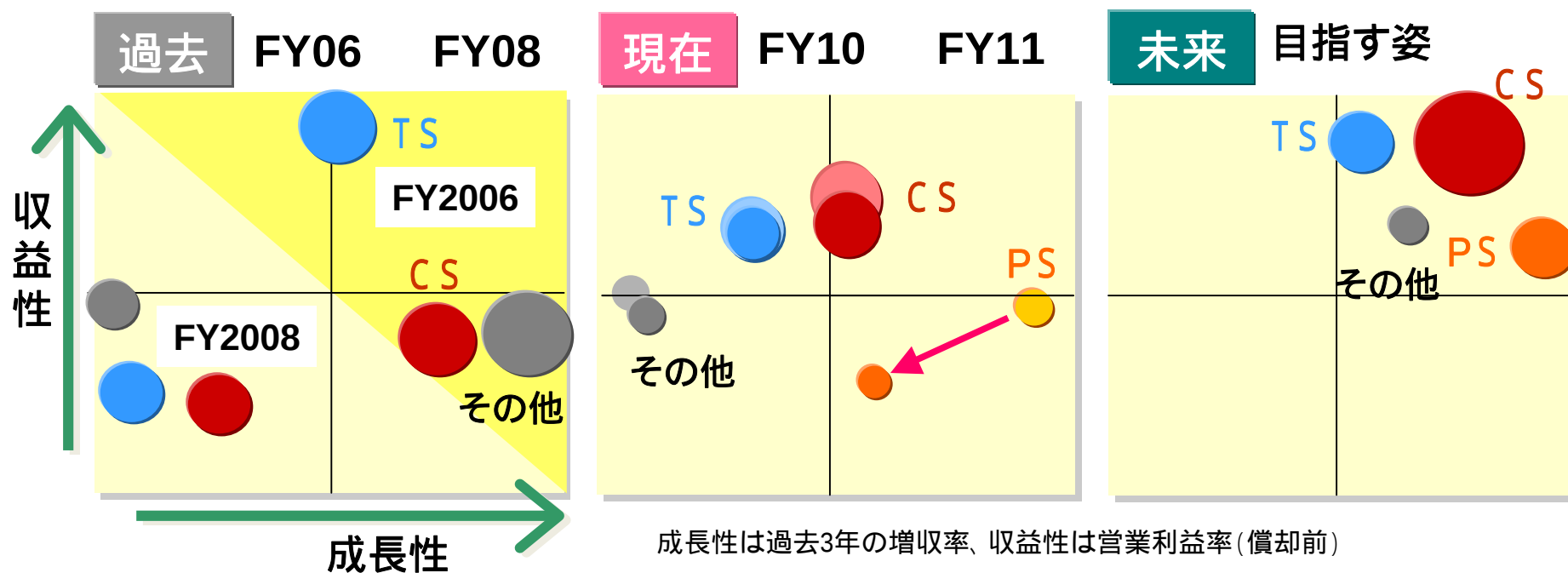
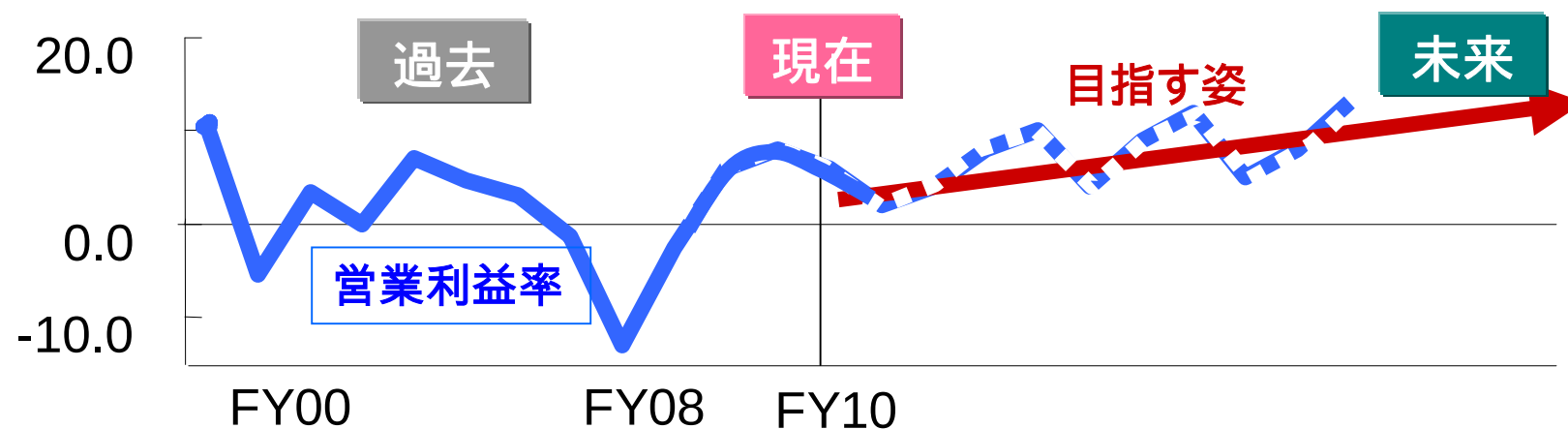
【3】FY2011通期業績見通しについて

【4】今後の成長戦略について

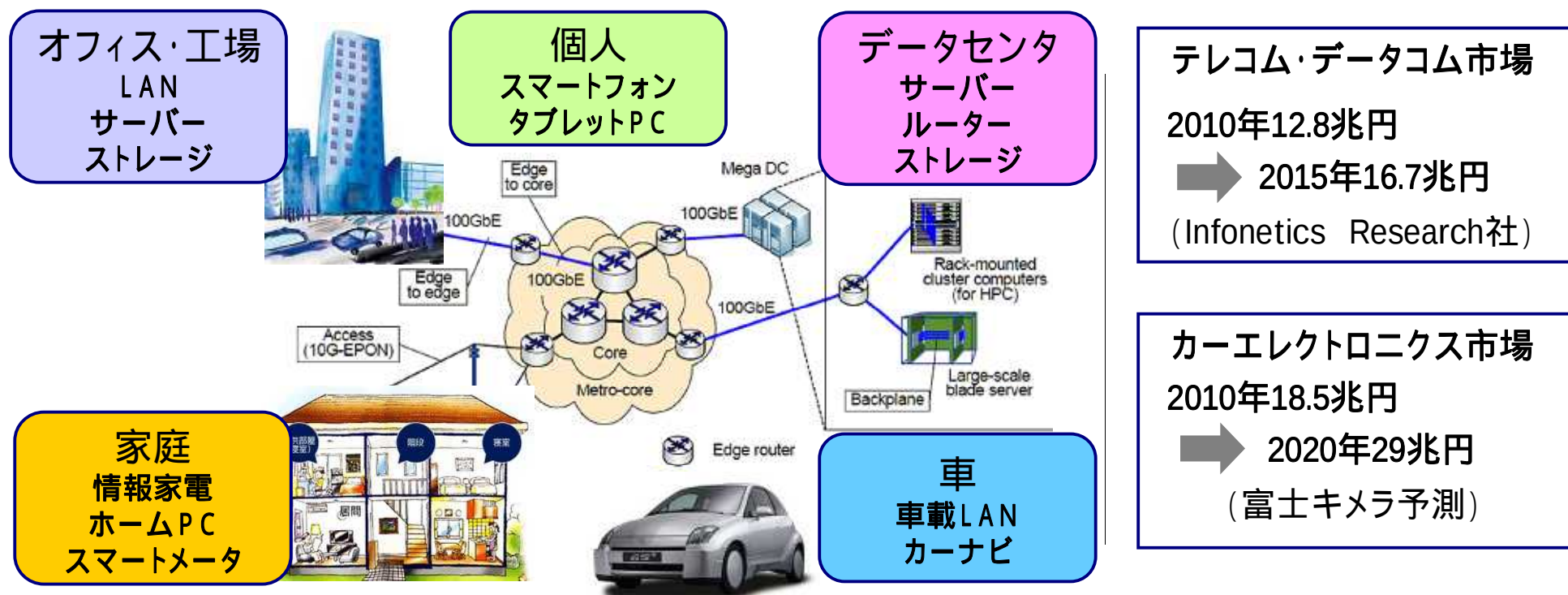
過去・現在・未来:利益体質を構築

事業ミックスの転換により安定的な収益体制を目指す

22



それを実現するハード部品は、コネクタ、ケーブル、送受信モジュール
要求事項は、**大容量化** と **低電力化** → **高速化、光化**

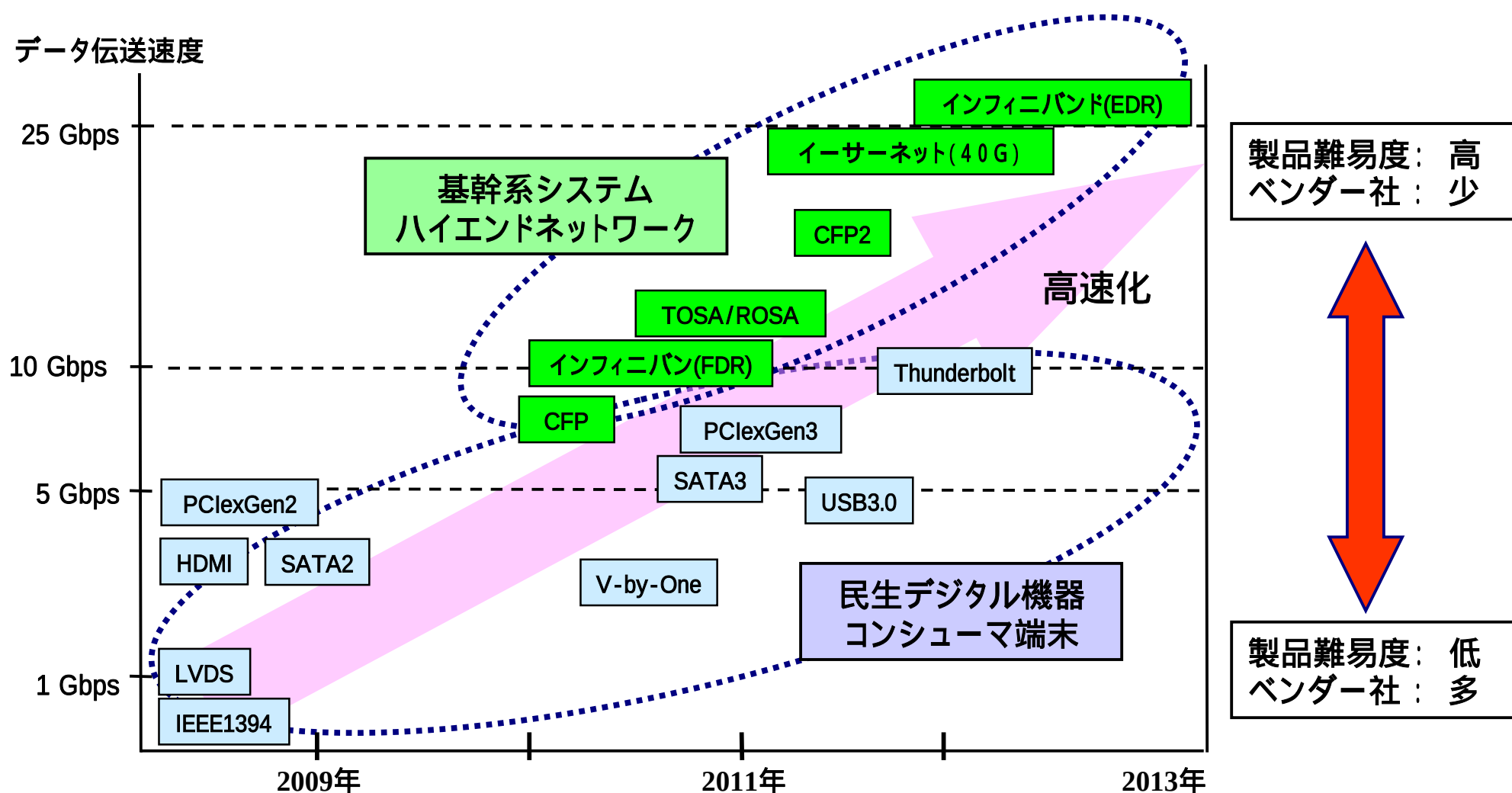


テレコム・データコム市場製品投入マップ

通信データ量増大に伴い、伝送高速化が加速

24

民生デジタル市場に加えて、高付加価値製品である基幹系システム市場にも参入



ご清聴ありがとうございました。

注意事項

本資料は、2011年11月11日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先: 経営企画部広報課 笹川康彦

TEL: 03-3778-6153 FAX: 03-3778-6171

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: sasagawa@yamaichi.co.jp